

国際語エスペラント運動に関するプラハ宣言

(アイヌ語訳)

プラハ or ta ci=ye itak
プラハ で 私たちが・言った 言葉

- Usa mosir un utar ukoytak pa kuni
- いろんな 国 の 人たちが 話し合う ために
a=kar itak "Esperanto" makanak an ya ka,
作られた 言葉 「エスペラント」が どのようなもので あるか、
eci=nure p ne ruwe ne. -
私たちがあなたたちに・知らせる もの です。 -

私たち、エスペラントの発展のための世界的な運動に加わる者たちは、この宣言をすべての政府、国際組織および良心ある人々に対して送り、ここに表明された目標に向けて私たちが不退転の決意をもって活動し続けることを宣言するとともに、それぞれの組織と個人とが私たちのこの努力に加わるよう呼びかける。

(アイヌ語訳)

Oripak turano ne yakka ci=ye ruwe ne.
恐縮ですが、 申し上げます。
C=utari anakne, エスペラント ye utar
私たちは、 エスペラントを 話す 人達が
naa poronno an kuni, usa mosir ta usa okay pe
もっと 増える ように 色々な 国 で 色々な 事を
ci=ki oasi hawe tapan na.
(私達が・)しようと思う の です よ。
Te ta ci=ye hi usa mosir un 政府 or un utar neya
ここで 私達が・言う ことを 色々な 国 の 政府 の たち や
国際組織 un utar neya opitta pirkano ci=nure ka ki,
国際組織 の 人たち や すべてに きちんと (私達が・)知らせる こともします、
te ta ci=ye hi nen poka an ayneno an kuni
ここで 私達が・言う ことが 何とか そのまま ある ように
c=arikiki ka ki kusu ne.
私達が・一生懸命働く ことも します。

Rapok ta, usa oka utar c=utari turano
一方で、色々な人たちが 私たちと 共に
arikiki wa un=kore kuni ci=nisuk kusu ne.
一生懸命働いて (私達に・) くれる ように (私達が・) 頼む つもりです。

エスペラントは、1887 年に国際的コミュニケーションのための補助言語案として提唱された後、生命力と表現力に富んだ言語へと速やかな発達を遂げ、すでに一世紀以上にわたって言語と文化の壁を越えて人々を結びつける働きを果たしてきた。エスペラントの使用者たちが目指してきた理想は今なお重要性と現代的意義を失っていない。私たちは公正で効果的な言語秩序のためには以下に述べる原則が必須であると考え、いずれかの民族語を世界語として使用しても、また今後いかに通信技術が進歩し、新しい言語教育法が開発されるにしても、これらの原則を実現することはできないであろう。

(アイヌ語訳)

エスペラント anakne, 1887 pa ta a=kar itak
エスペラント は、 1887 年 に 作られた 言葉
("a=numke easkay kuni itak") ne wa,
(「選ぶことができる ようにした 言葉」) であり、
newaanpe ani usa mosir un utar
それ によって いろんな 国 の 人たちが
ukoytak easkay kuni a=ramu itak ne ruwe ne.
互いに話し合う事が できる ように 考えられた 言葉 です。
Okake ta, エスペラント itak ipehe naa poronno pirkano oka wa,
その後、 エスペラント の言葉 の意味は もっと たくさん 良くなって、
tane 1世紀 akkari utur ta, usa oka itak ye utar ka
もう 1世紀 以上の 間、 いろんな 言葉 を言う 人 も
usa oka puri kor utar ka, ani etoko tuypa
いろんな 文化 を持つ 人 も、 それによって 邪魔される
ka somo ki no ukoytak a ruwe ne.
ことなく 話し合っ て きました。
エスペラント ye utar neno irawe hi anakne,
エスペラントを 話す 人たちが そのように 望んだ こと は、
tane ne yakka uneno an kuni ci=ramu.
今 であっても 同じ だ と (私たちは・) 思います。

Nen ne yakka oya itak ani wente ka somo ki no,
誰で あっても 別の 言葉 によって 害される ことなく、
pirkano ukoytak easkay kunine, sine itak or ta
良く 話し合い ができる ように、 ある 言葉 において
ci=ki rusuy hi ene oka hi;
私達が・望む ことは 以下の通りです；

(Newaanpe anakne, inan mosir un itak ne yakka wen
(これ は、 どの 国 の 言葉 であっても いけない
kuni ci=ramu.
と 私たちは・思います。

Te wano neun 通信技術 pirkano an yakka,
これから どのように 通信技術が よく なっても、
neun itak epakasnu yakka wen nankor.)
どのように 言葉を 教え ても だめ でしょう。)

1. 民主性

あるコミュニケーションのしくみが、特定の人々には一生涯の特権を与える一方で、他の人々にはより低い段階の能力の獲得にさえ多年の努力をつぎ込むよう求めるなら、それは根本において反民主的なものである。エスペラントは、他の言語と同様に、完全ではないが、平等な全世界的コミュニケーションという領域では、どの競合する言語に比べてもはるかにまさっている。

言語の不平等は、国際レベルを含めたあらゆるレベルにおいて、コミュニケーションの不平等を生み出すものであると、私たちは主張する。私たちの運動は民主的なコミュニケーションを目指すものである。

(アイヌ語訳)

1. A=utari opitta uneno a=ye easkay kuni p
1. 私たち みんなが 同じように 言うことが できる もの

Sine mosir un itak ye kur epirka rapok ta,
ある 国 の 言葉を 言う 人が それで得をする 一方、
oya mosir un itak ye kur anak
別の 国 の 言葉を 言う 人 が
ne itak ponno ka erampewtek hi kusu esirkirap yak wen.
その 言葉を 全然 知らない がために 苦勞する ならば 良くありません。

Pirka itak anakne, a=utari opitta
よい 言葉 とは、 私たち みんなが
uneno a=ye easkay kuni p ne ruwe ne.
同じように 言う ことができる もの です。
エスペラント nep ka wen hi isam
エスペラントが 何 も 悪い ところがない
sekor anak somo ci=ye korka,
と は (私達は・) 言いません が、
newaanpe or ta iyotta pirka itak ne sekor yaynu=as.
この点においては 一番 よい 言葉 であると 私たちは・考えます。

2. 民族性を超えた教育

民族語はそれぞれ特定の文化・国家と結びついている。例えば、英語を学習する生徒は英語圏の諸国、特にアメリカ合衆国とイギリスの文化・地理・政治について学ぶことになる。それに対してエスペラントを学習する生徒は、国境のない世界について学ぶのであって、そこではどの国も故国と見なされる。

いずれの民族語を用いた教育も特定の世界観に結びついていると、私たちは主張する。私たちの運動は民族性を超えた教育を目指すものである。

(アイヌ語訳)

2. A=utari opitta uneno a=eraman easkay kuni p
2. 私たち みんなが 同じように 勉強することが できる もの

Sine mosir un itak eraman rusuy pe anakne,
ある 国 の 言葉を 勉強 したい 者は、
ne mosir oruspe ka puri ka poronno eraman yak easir pirka.
その 国の 話 も 文化 も たくさん 勉強 しないと いけません。
英語 eraman rusuy kur ne yakun, アメリカ oruspe neya
英語を 学び たい 人 なら、 アメリカの 話 や
イギリス oruspe neya pirmano eraman kuni p ne.
イギリスの 話を きちんと 勉強する ことになります。
Rapok ta, エスペラント sine mosir un itak ka somo ne kusu,
一方、 エスペラントは ある 国 の 言葉では ない ので、
nenon an oruspe isam.
そのような 話は ありません。

A=utari opitta uneno a=eraman easkay kuni p ne,
私たち みんなが 同じように 勉強する ことができる もので ある、
sekor yaynu=as.
と 私たちは・考えます。

3. 教育上の効果

外国語を学習する人の中で、それを習得できる人の割合はごく低い。それに対してエスペラントの習得は独習によっても可能であり、他の言語を学ぶための予備的学習としての効果についてもさまざまな研究報告がある。また、生徒の言語意識を高めるための教科においてエスペラントを中核に位置づけるよう勧める声もある。

民族語の学習は難しく、第二言語の知識があればそれによって益を受けるはずの多くの学習者にとって常に障害となり続けるであろうと、私たちは主張する。私たちの運動は効果的な言語教育を目指すものである。

(アイヌ語訳)

3. Isaykano a=eraman easkay kuni p
3. 簡単に 勉強することが できる もの

Oya mosir un itak hokampa p ne ruwe ne.

別の 国 の 言葉は 難しい もの です。

Neun a=epakasnu yakka erampewtek utar poronno oka nankor.

どんなに 教わっ ても わからない 人は たくさん いる でしょう。

Rapok ta, エスペラント isayka itak ne kusu,

一方、 エスペラントは 簡単な 言葉 なので、

yaykata pirkan a=eramaneaskay pe ne.

ひとりで きちんと 学ぶことができる もの です。

Oya mosir un itak a=epakasnu hi etoko ta,

別の 国 の 言葉を 教わる (ことの) 前に、

エスペラント eraman yak pirka sekor ye utar ka oka.

エスペラントを 知っている と 良い と 言う 人たち も います。

エスペラント isaykano a=eraman easkay kuni p ne

エスペラントは 簡単に 勉強することが できる もの である、

sekor yaynu=as.

と 私たちは考えます。

4. 多言語性

エスペラントの共同体は、その構成員が例外なく二つ以上の言語を話すという、世界的規模の言語共同体としては数少ない例の一つである。構成員はそれぞれ、少なくとも一つの非母語を会話のできる程度まで学ぶことを自己に課している。多くの場合、このことは複数の言語に対する知識と愛着をもたらし、ひいてはその人の視野をより広くすることにつながっている。

どの言語の話し手にも、その言語の大小を問わず、コミュニケーションが可能な高い水準まで第二言語を習得する現実的な機会が与えられていてしかるべきだと、私たちは主張する。私たちの運動はその機会を提供するものである。

(アイヌ語訳)

4. Yay-itak tup akkari a=eraman hi

4. 自分の言葉を 二つ 以上 勉強する こと

エスペラント ye utar opitta, neun poka yay-itak tup akkari

エスペラントを 話す 人は 全て、 どうにかして 自分の言葉を 二つ 以上

eraman pe ne ruwe ne.

勉強した 者 です。

Utari ukoytak easkay kuni pakno oya itak eraman pe ne.

その人たちは 会話が できる まで 別の 言葉を 勉強した 者 です。

Iki ayne, ne kur pawetok kur ne wa,

その結果、 その 人は 雄弁な 人 になって、

uwosuwos usa okay pe eraman nankor.

次々と いろんな ことを 学ぶ でしょう。

Yay-itak tup akkari a=eraman yak pirka p ne.

自分の言葉を 二つ 以上 勉強する と 良い もの です。

Ne hi oro ta エスペラント anakne iyotta pirka itak ne,

その時 に エスペラント は 最適な 言葉 である、

sekor yaynu=as.

と 私たちは考えます。

5. 言語上の権利

言語間に力の不平等があることは、世界の大部分の人々にとって、言語的な危機感をもたらし、ときには直接の言語的抑圧となっている。エスペラントの共同体では、母語の大小や公用・非公用を問わず、互いの寛容の精神によって、中立の場集っている。このよう

な言語における権利と責任の間のバランスは、言語の不平等や紛争に対する新しい解決策を進展させ評価するための先例となるものである。

いずれの言語にも平等な取り扱いを保証する旨が多くの国際的文書に表明されているが、言語間の力の大きな格差はその保証を危うくするものであると、私たちは主張する。私たちの運動は言語上の権利の保証を目指すものである。

(アイヌ語訳)

5. Inan itak ne yakka a=eyam hi

5. どの言葉であっても大切にされること

Usa oka mosir un utar anakne, kor itak sinna hi kusu
いろいろな国の人たちが、持つ言葉が違うということで
a=okpare yak wen.

冷遇されるのはよくないです。

エスペラント ye utar or ta, inan itak ne yakka,
エスペラントを話す人たちの中では、どの言葉であっても、
hempak utar kor itak ne yakka, ney ta ye itak ne yakka,
何人の人たちが持つ言葉であっても、どこで話す言葉であっても、
opitta a=eyam kuni p ne ruwe ne.

すべて大切にされるべきものです。

Ene yaynu=an yakne, kor itak sinna kusu
このように考えるならば、(持つ)言葉が違うから
a=i=okpareka somo ki.

冷遇されるということはありません。

Usa oka kampi ka ta "inan itak ka a=eyam pe ne."
いろいろな紙の上に「どの言葉も尊重するものです。」

sekor a=nuye wa an korka,

と書かれています。

an pe anakne inne utar kor itak ye kur patek
実際は多くの人たちの持つ言葉を使う人ばかりが
epirka wa an ruwe ne.

得をしています。

エスペラント an yak usa oka itak naa a=eyam,
エスペラントがあればいろいろな言葉がもっと尊重される、
sekor yaynu=as.

と私たちは考えます。

6. 言語の多様性

諸国の政府は往々にして世界における言語の多様性をコミュニケーションと社会発展にとっての障害とみなしがちである。しかし、エスペラントの共同体にとっては、言語の多様性は尽きることなく欠くことのできない豊かさの源泉である。したがって、それぞれの言語はあらゆる生物種と同様にそれ自身すでに価値があり、保護し維持するに値するものである。

もしコミュニケーションと発展に関する政策がすべての言語の尊重と支持に基礎を置くものでないならば、それは世界の大多数の言語に死を宣告するものであると、私たちは主張する。私たちの運動は言語の多様性を目指すものである。

(アイヌ語訳)

6. Utar kor itak poronno an hi

6. 人々 の持つ 言葉が たくさん ある こと

Usa oka mosir un 政府 anakne, utar kor itak poronno an yak
いろいろな 国 の 政府 は、 人々 の 言葉が たくさん ある と
ukoysoytak=an niwkes kusu wen sekor yaynu nankor.

会話が しにくい から よくない と 考えるかも しれません。

Korka, エスペラント ye utar or ta,

しかし、エスペラントを 話す 人たち の中 では、

kor itak poronno an hi sino pirka ruwe ne.

(持つ) 言葉が たくさん ある ことは 本当に 素晴らしい ことです。

Usa oka itak anakne sinep pisno kamuy koraci an pe ne wa,

いろいろな 言葉 は、 一つ ごとに 神 のような もので、

opitta a=eyam kuni p ne.

全て 大切にされる べき もの です。

Isaykano ukoysoytak=an easkay sekor a=ye kor,

簡単に 会話 できる と 言い ながら、

poronno an itak utar somo a=eyam kuni 政策 sanke yakun,

多くの 言葉 (たち)を 大事にしない ような 政策を 出す ならば、

itak poroser isam nankor.

言葉の 大部分は なくなって しまうでしょう。

Inne itak turano oka=as kuni エスペラント un=kasuy

多くの 言葉 とともに ある ように エスペラントは (私たちを・)助けて

wa un=kore, sekor yaynu=as.

くれる、 と 私たちは・考えます。

7. 人間の解放

いかなる言語も、その使用者間のコミュニケーションを可能にすることによって人々を自由に行っている一方で、他の人々とのコミュニケーションを阻害することによって不自由にもしている。全世界的なコミュニケーションの道具として立案されたエスペラントは、人間解放の大きな実際の事業の一つである。すなわち、すべての人が各自の地域文化や言語的独自性にしっかりと根ざしていながらそれに制約されず、人類の共同体にその一員として参加することを可能にする事業なのである。

数ヶ国の民族語のみを使うことは自己表現やコミュニケーション、連帯の自由に対する障害となることが避けられないと、私たちは主張する。私たちの運動は人間の解放を目指すものである。

(アイヌ語訳)

7. Nen ne yakka somo esirkirap no ye easkay hi
7. 誰 もが 悩まずに 話せる こと

Inan itak ne yakka, eraman utar anak
どんな言葉 でも、 理解している 人 は
ukoysoytak easkay korka, erampewtek utar anak eaykap.
会話が できます が、 してない 人 は できません。

Newaanpe ewen utar ka poronno an.
それで 損をしている 人たち も たくさん います。

エスペラント anakne, inan mosir ta neyakka a=ye easkay kuni
エスペラント は、 どの 国 でも 話せる ように

a=kar pe ne wa, nen ne yakka kor itak ka
作られた もの で、 誰 もが 自分の持つ 言葉 や

kor puri ka somo osurpano ukoysoytak easkay ruwe ne.
(持つ) 文化 も 棄てずに 話すことが できます。

Tapne kane, a=utari anakne “人類 uwekarpa” or
このようにして、 私たちみんな は 「人類の 集まり」 の中に

uniyorot=an easkay ruwe ne.
参加することが できる のです。

Ne uwekarpa or ta, sine mosir or ta a=ye itak
その 集まり において、 ある 国 で 話されている 言葉

tup ka rep ka ani patek ukoysoytak=an yak wen.
二つ か 三つ か だけで (私たちが・) 会話を する のは よくありません。

エスペラント ani, nen ne yakka

エスペラント によって 誰 もが

somo esirkirap no ukoysoytak easkay, sekor yaynu=as.

悩まず に 会話することが できる、 と 私たちは・考えます。